

栗東市総合計画等市民アンケート調査結果（考察）

第五次栗東市総合計画等の進行管理を図る上で、一次評価として隔年実施となる市民アンケート調査を今年度（平成 28 年度）、実施し、施策に対するアウトカム指標の評価確認を行った。

調査結果については、第五次総合計画後期基本計画、第七次行政改革大綱、総合戦略にかかる指標全 30 項目のうち、初回アンケート（平成 26 年度実施）結果に基づく基準値および KPI(重要業績評価指標)に対する数値から増加した項目は 6 項目、現状維持（±1.0 ポイント）の項目は 10 項目、減少した項目は 14 項目であった。

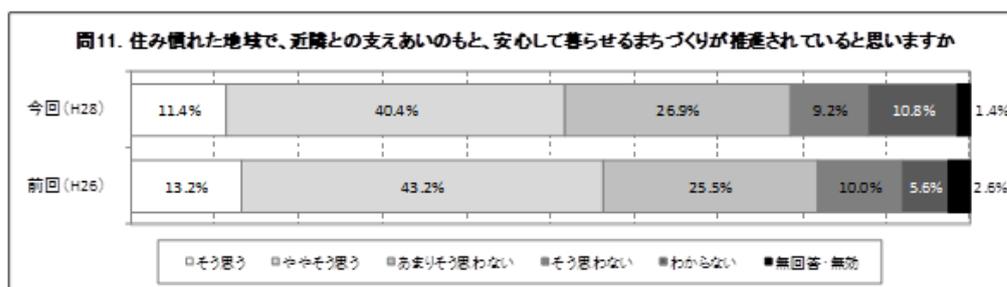
今回の市民アンケート調査の傾向としては前回調査と比較して、多くの項目で「そう思う」「ややそう思う」の回答率が減少するとともに「あまりそう思わない」「そう思わない」の回答率も多く項目で減少した。その反面、「わからない」の回答率がほとんどの項目で増加しており、結果的にこの「わからない」の回答率の増加が、肯定意見と否定意見のポイントを圧縮し 14 項目で基準値に対して数値が下回った結果となった。

以下、調査結果の数値から読み取れる特徴のある指標項目について下記のとおり考察する。

問 1 1 住み慣れた地域で、近隣の支えあいのもと、安心して暮らせるまちづくりが推進されていると思いますか。

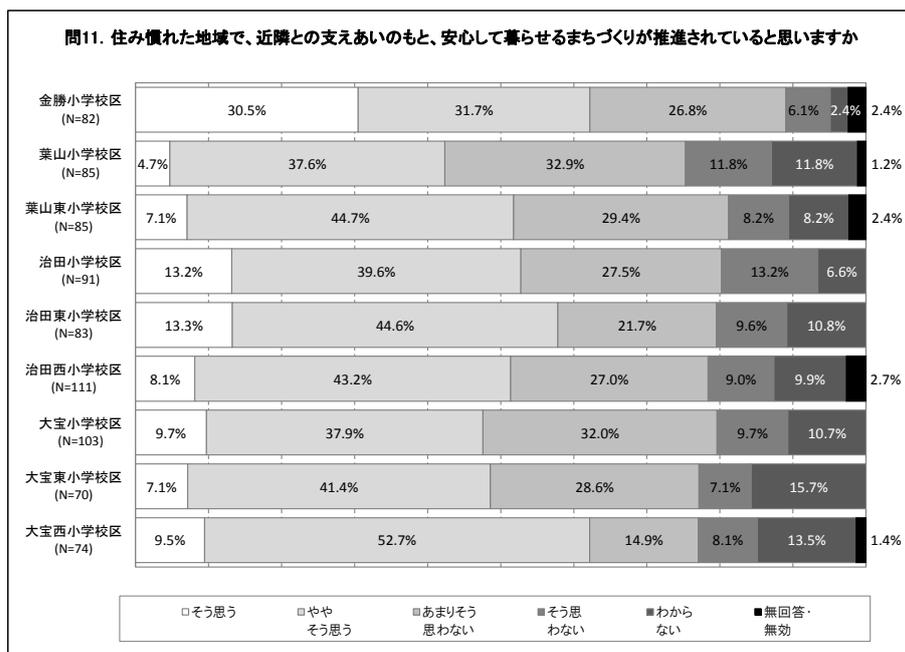
基本目標 1 「安心・安全のまち」 基本政策 3 安心を支える福祉を推進するまち

施策	指標（アウトカム）	基準値	現状値	目標値	傾向
		平成 26 年度実績	平成 28 年度実績	平成 31 年度末	
地域で支えあう福祉のまちづくり	住み慣れた地域で、近隣との支えあいのもと、安心して暮らせるまちづくりが推進されていると思う市民の割合	56.3%	51.7%	62%	↓



【減少要因】

「わからない」と回答した割合が前回（H26）5.6%から今回10.8%に増加している。「わからない」と回答したのは特に20歳代（24.2%）、30歳代（18.7%）で多く、地域別では大宝東学区で前回（H26）8.3%から今回15.7%に増加していること等から、都市部や若年層においては近所づきあい等も希薄で少なく、地域への関心も薄いことなどが要因であると考えられる。

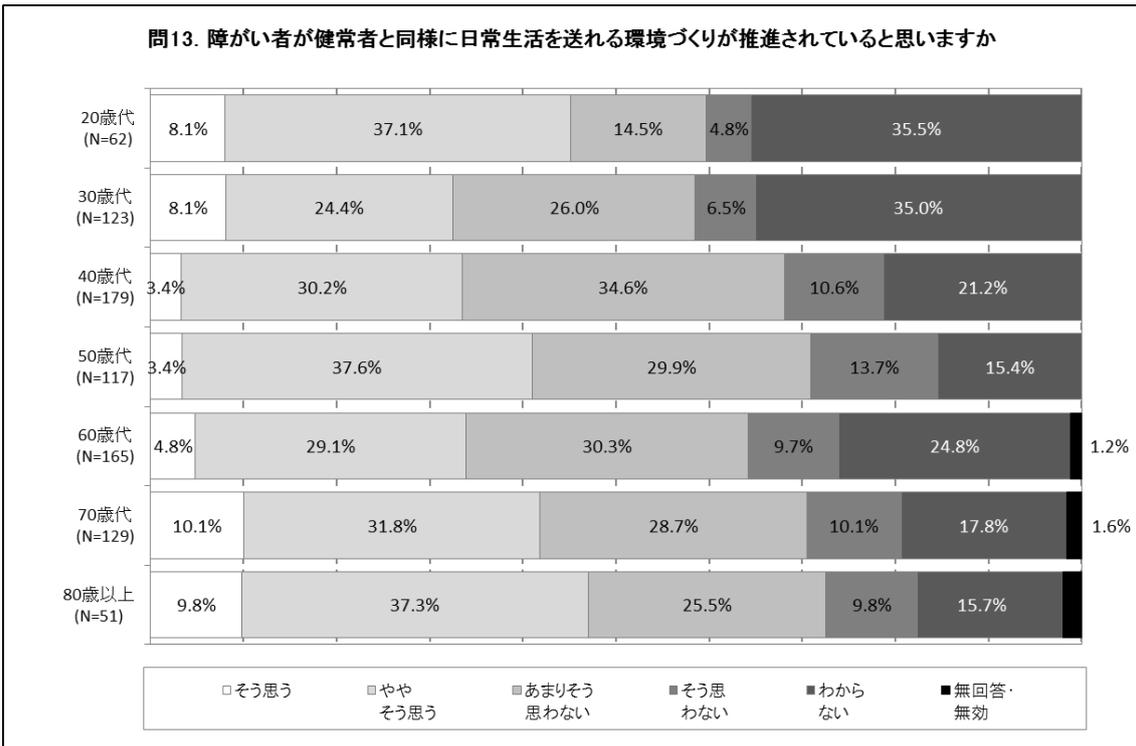
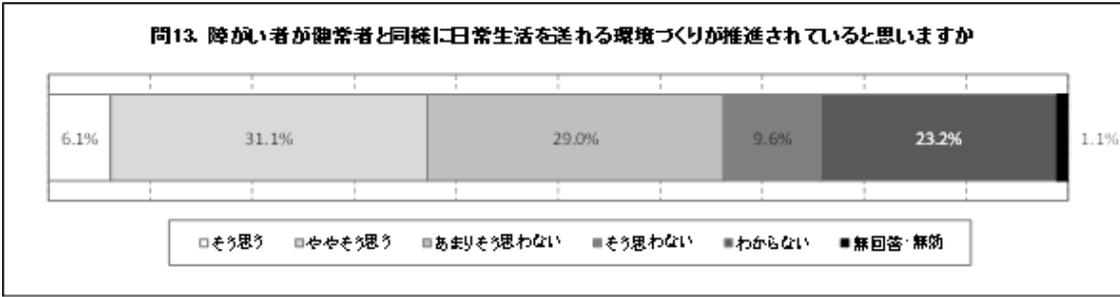


一方、金勝地域では「そう思う」「ややそう思う」と回答した割合が62.2%と他地域より高く、その家族形態を分析すると「3世代」の割合が高く、近隣とのつきあいも活発であることから地域への愛着があることが割合の高さの要因と考えられる。

問13 障がい者が健常者と常に日常生活を送れる環境づくりが推進されていると思いますか。

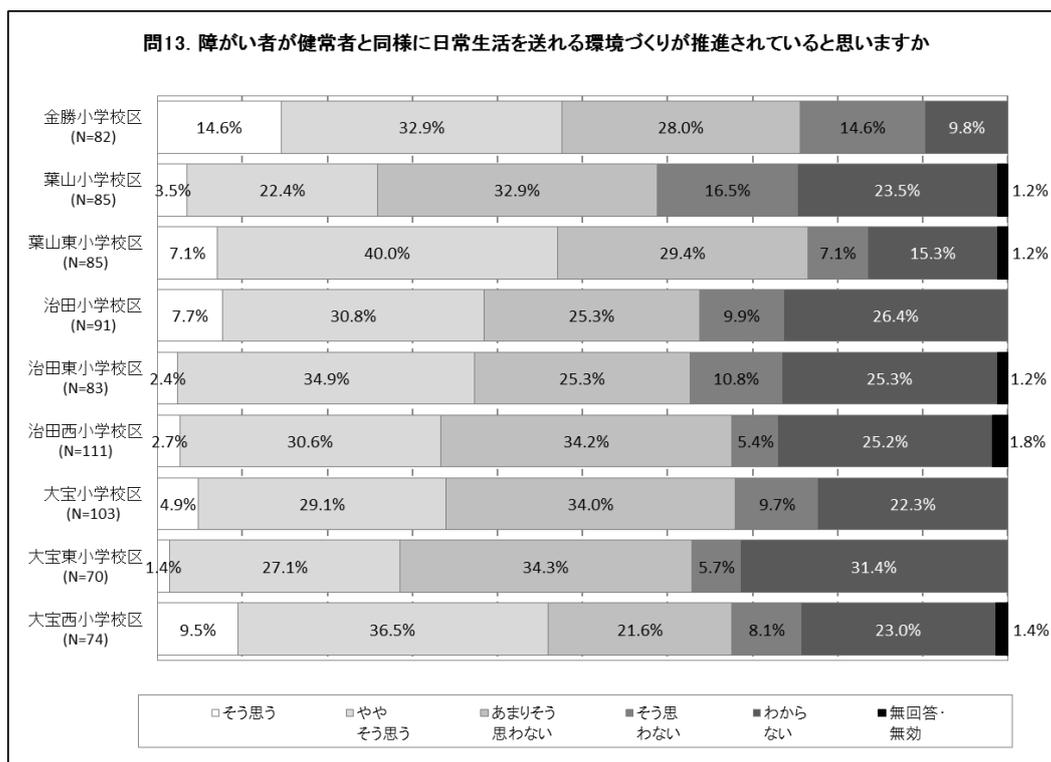
基本目標1「安心・安全のまち」 基本政策3 安心を支える福祉を推進するまち

施策	指標（アウトカム）	基準値 平成26年度実績	現状値 平成28年度実績	目標値 平成31年度末	傾向
障がいのある人の自立と社会参加を促進するまちづくり	障がい者が健常者と同様に日常生活を送れる環境づくりが推進されていると思う市民の割合 ★	42.9%	37.2%	51%	↓



【減少要因】

「わからない」と回答した割合が前回（H26）14.2%より今回23.2%と極端に増加しており、特に20歳代（35.5%）、30歳代（35.0%）で多く、関心が少なくなっていることが要因として考えられる。

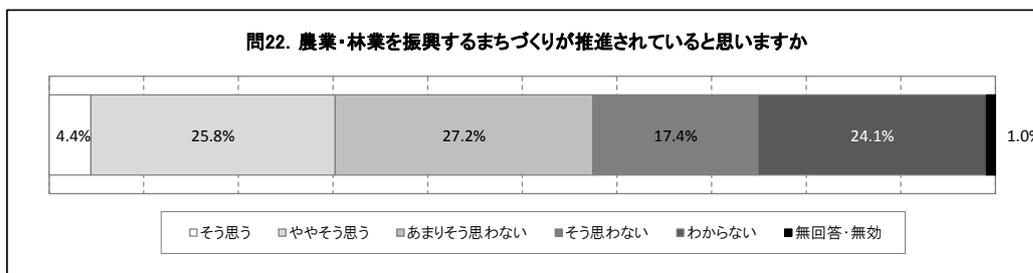


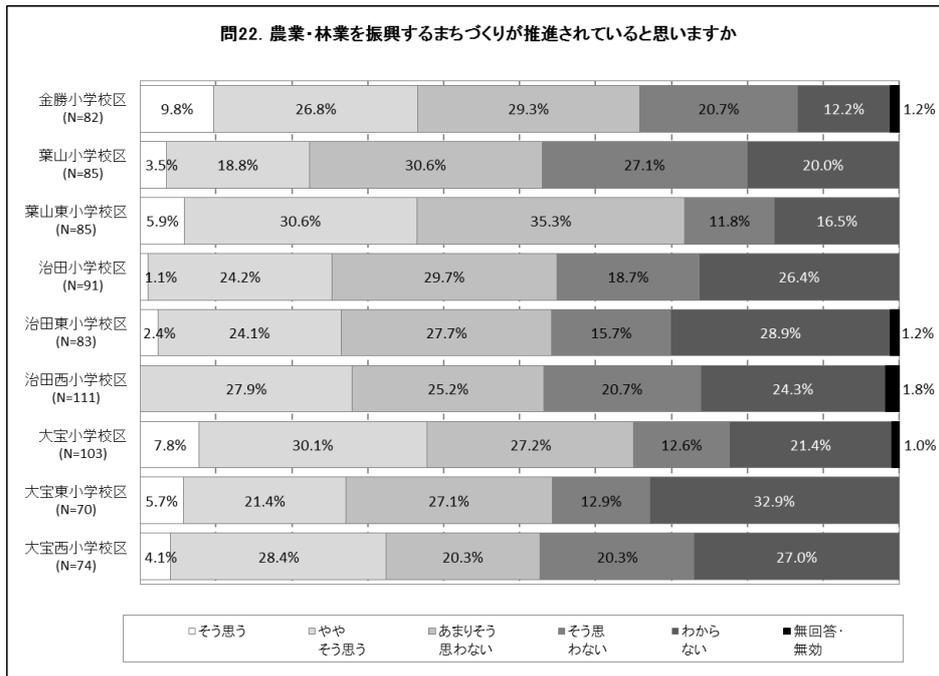
また、葉山地域では「そう思う」「ややそう思う」と回答した割合が他地域よりも低く（25.9%）、その居住歴を分析すると「他市等」からの転入の割合が高いことなどから、施設や制度等の理解が進んでいないと思われる。

問22 農業・林業を振興するまちづくりが推進されていると思いますか。

基本目標2「環境・創出のまち」 基本政策3 まちを支え、活力を創出するまち

施策	指標（アウトカム）	基準値 平成26年度実績	現状値 平成28年度実績	目標値 平成31年度末	傾向
地域農業を育む まちづくり 緑豊かな森林を生かしたまちづくり	農業・林業を振興するまちづくりが推進されていると思う市民の割合 ★	25.2%	30.2%	32%	↗





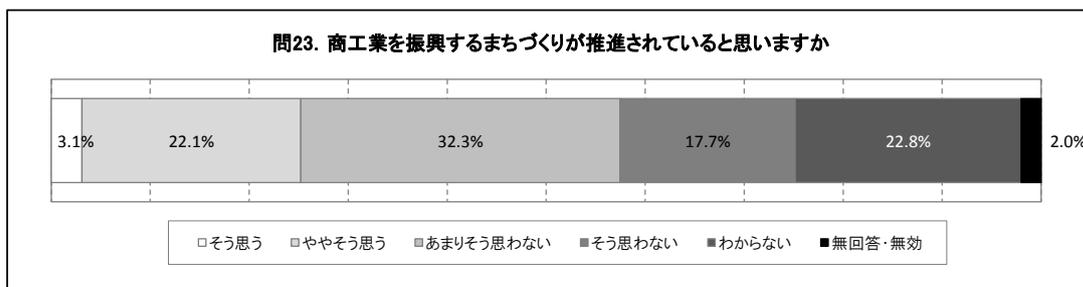
【増加要因】

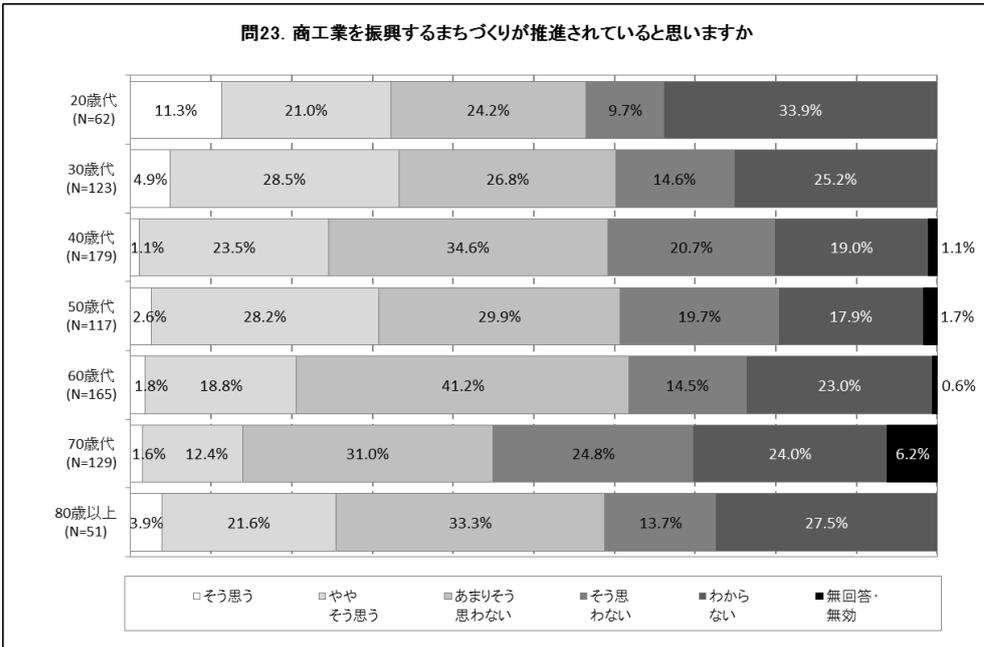
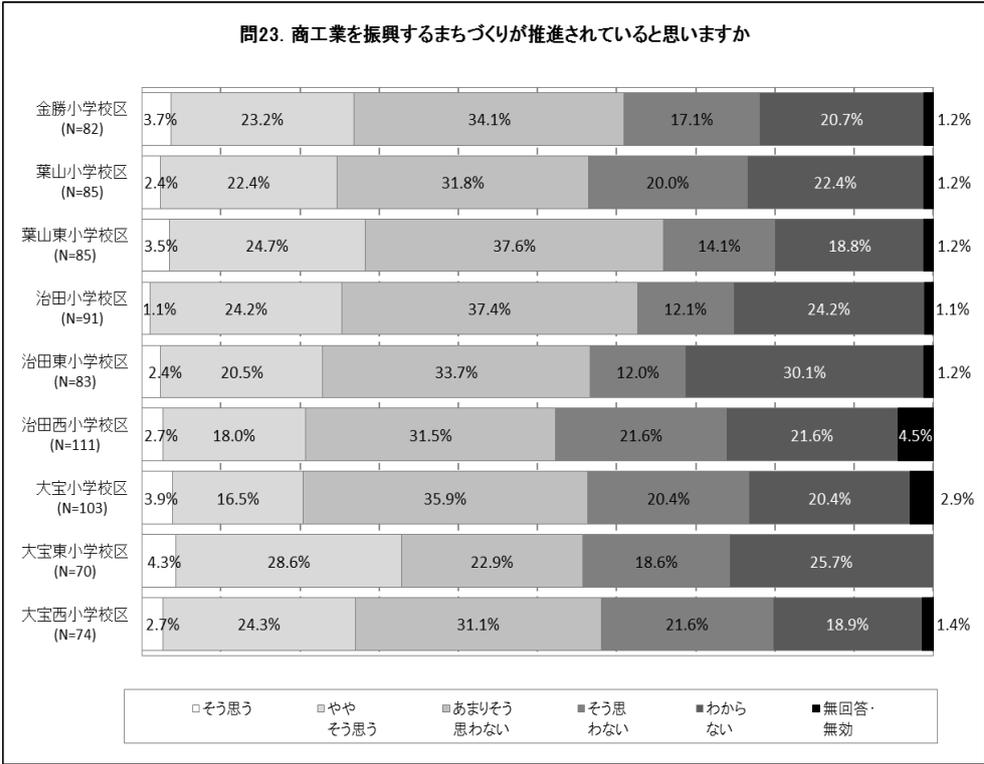
金勝地域（36.6%）、葉山東地域（36.5%）、大宝地域（37.9%）では「そう思う」「ややそう思う」と回答した割合が他地域より高く、その居住歴を分析すると「他市等」からの転入の割合が高く、周辺の自然環境として、山林や田畑を身近に感じることができることや農業等の従事者割合が他地域より高いためと思われる。

問23 商工業を振興するまちづくりが推進されていると思いますか。

基本目標2「環境・創出のまち」 基本政策3 まちを支え、活力を創出するまち

施策	指標（アウトカム）	基準値	現状値	目標値	傾向
		平成26年度実績	平成28年度実績	平成31年度末	
商工業の振興と就労推進のまちづくり	商工業を振興するまちづくりが推進されていると思う市民の割合 ★	19.9%	25.2%	26%	↗





【増加要因】

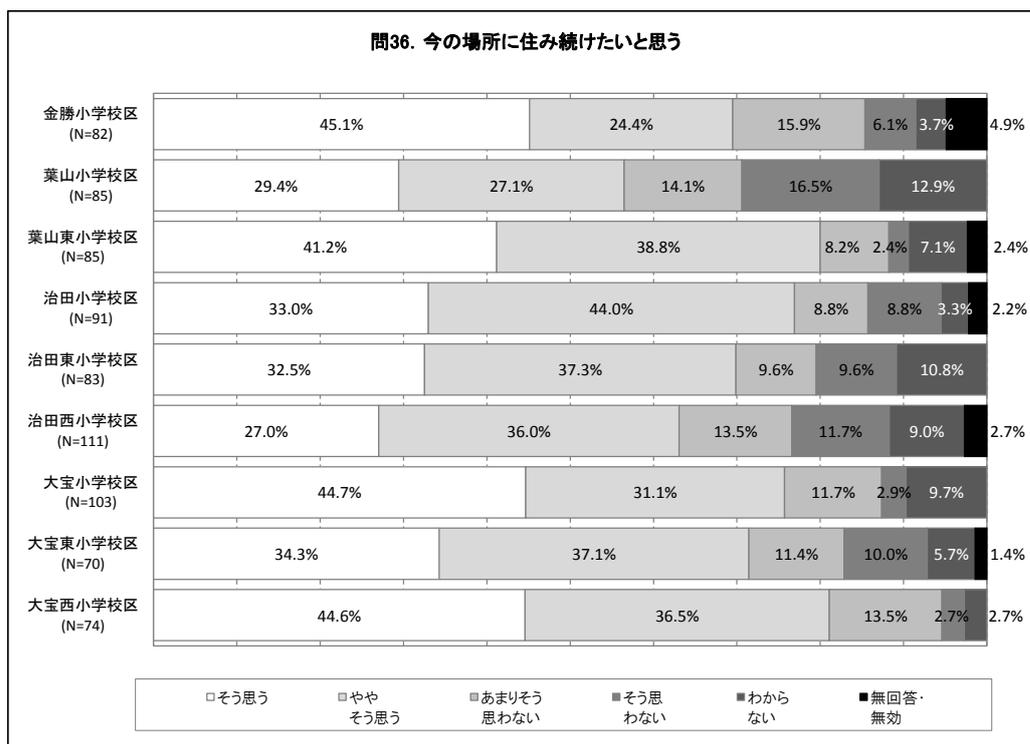
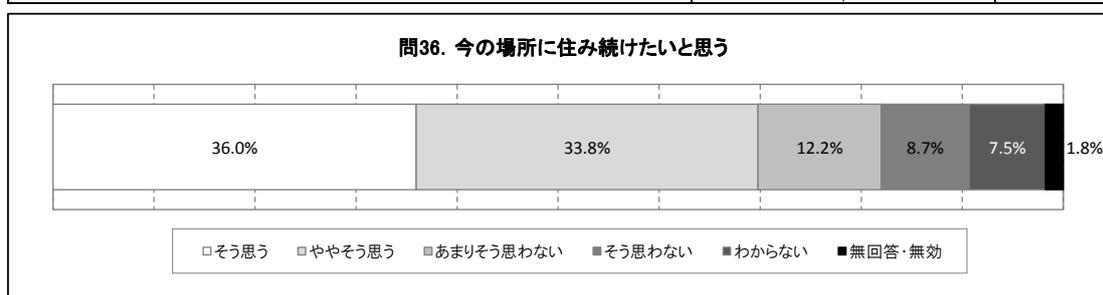
大宝東地域で「そう思う」「ややそう思う」と回答した割合が他地域より高く(32.9%)、これは近隣において大型商業施設があり、商工業の活動が身近に感じられるためと推測される。

また、高年齢者(60歳代(20.6%)、70歳代(14.0%))においては、「そう思う」「ややそう思う」と回答した割合が低いことについては、その方の住まいの

地域をクロスで分析すると、「葉山」「葉山東」「治田」地域の方の割合が高く、近くに買い物ができる店が少ないため高齢者による買い物等が困難なケースが考えられることが要因と思われる。

問36 今の場所に住み続けたいですか。

指標（アウトカム）	基準値 平成27年度実績	現状値 平成28年度実績	目標値 平成31年度末	傾向
今の場所に住み続けたいと思う市民の割合	56.0%	69.8%	64%	目標達成



【増加要因】

「葉山」「治田西」地域においては、「そう思う」「ややそう思う」と回答した割合が低いのは、その方の居住歴をクロスで分析すると「他市等」からの転入の割合が高く、借家住まいの方が多いためと思われる。

また、「そう思う」の割合の高い地域においては、「家族形態」としては「3世代」や「親と夫婦」の世帯が多く、長年住まわれている世帯では愛着があるものと思われる。